

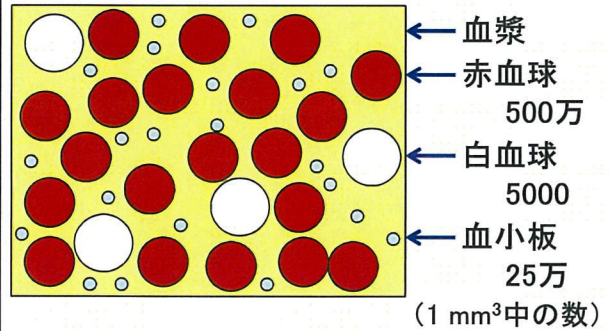
平成29年度岡山県献血推進協議会

## 血液事業の概要

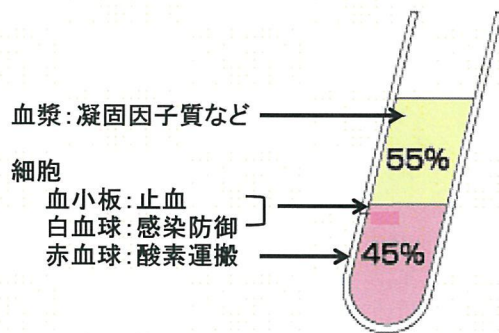


岡山県赤十字血液センター  
所長 池田 和真

## 血液



## 血液 = 血漿 + 細胞



## 輸血用血液の種類

赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤
出血、赤血球の機能低下による酸素欠乏	血液凝固因子の欠乏による出血	血小板の減少や機能低下による出血
有効期間: 21日間	有効期間: 1年間	有効期間: 4日間



● 血液の有効期間は非常に短く、継続的な献血が必要とされています。

## 献血と血液製剤

献血		血液製剤	
全血	200 mL	→ 赤血球	→ 赤血球*
	400 mL	→ 血漿	→ 凍結血漿*
成分#	血漿	→ 凍結血漿	→ 血漿分画製剤
		→ 原料血漿	→ アルブミン、免疫グロブリン、凝固因子製剤など
	血小板	→ 血小板	→ 血小板*

# 成分献血は、「献血ルームうらら」、「献血ルームももたろう」のみ  
\* 輸血用血液製剤: 原則として、ABO同型を用いる

## 血漿分画製剤

急な出血、やけどの治療に



重症感染症の患者さんに



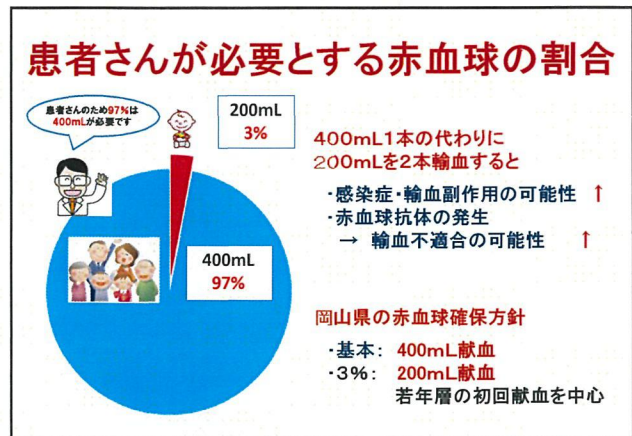
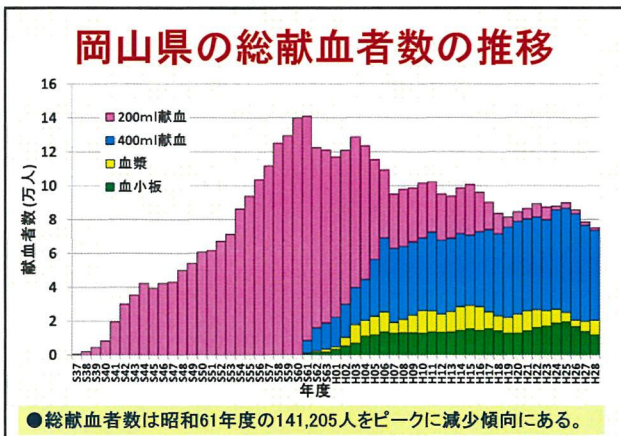
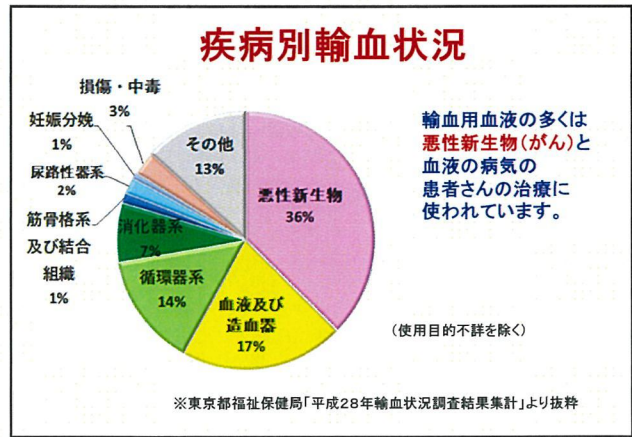
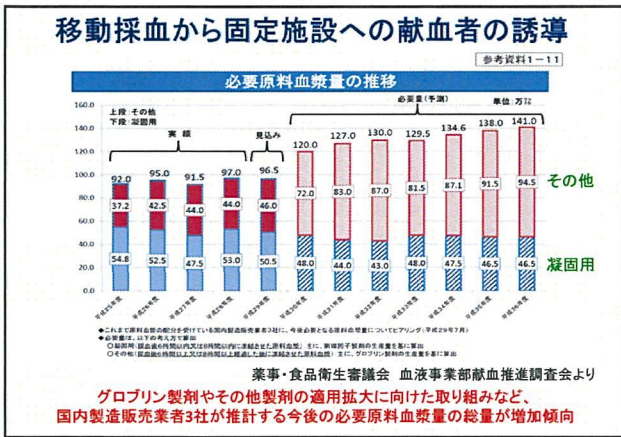
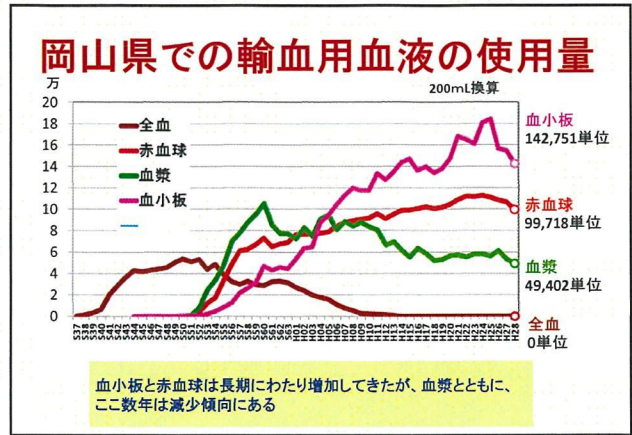
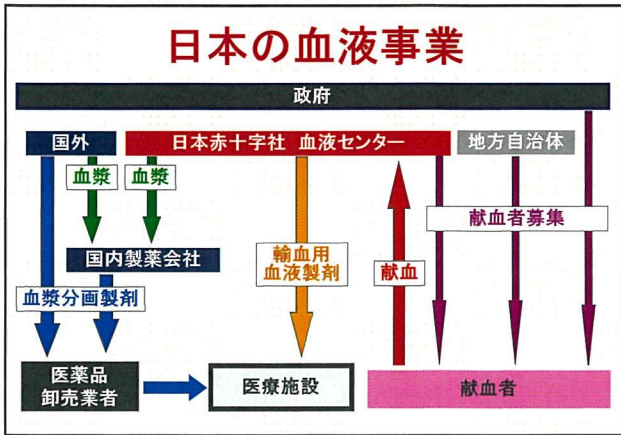
感染症の予防や治療に



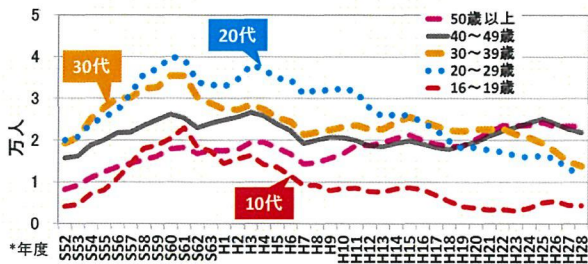
血友病の患者さんに



血漿を分画・精製した各種「タンパク質」製剤

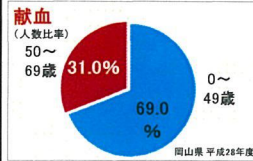
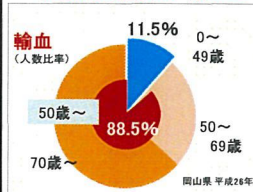


## 岡山県の年代別献血者数の推移

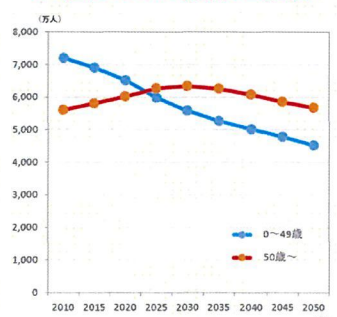


H28: 平成19年度と比較すると10代~30代の献血者数が約30%減少している。少子高齢化の進展により、10代~30代の献血者数の増加が望まれる。

## 年齢別輸血・献血

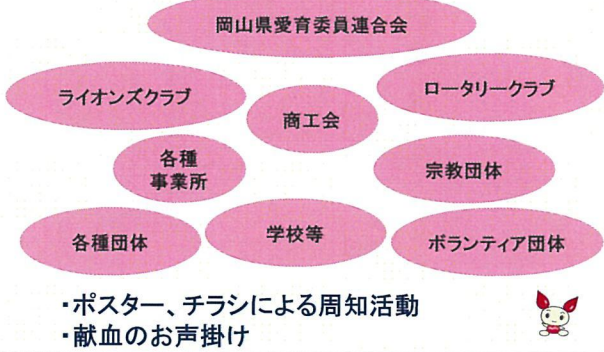


## 全国の人口推移と推計



経産省統計局・各年10月1日現在人口(全国:年齢(各歳)、男女別人口) 国支社会保険・人口問題研究所:日本の将来推計人口(平成29年推計)

## 献血にご協力いただく各種団体



## 血液センターの取り組み

・献血セミナー、赤十字出前講座  
総件数118件7,334名(平成30年2月末現在)

- 1) キッズ献血(学生献血推進連盟)
- 2) 夏休み親子見学会
- 3) Let's Try MOGI 献血



- ・高校献血(学園祭、卒業記念献血)
- ・大学、専門学校等献血(学内、送迎)

- ・学生献血推進連盟(晴れの国、中国四国統一、クリスマスキャンペーン)

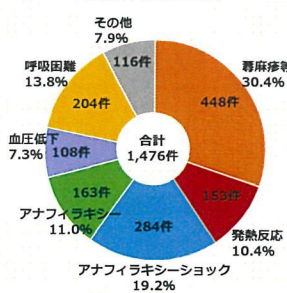
- ・いのちと献血俳句、献血ポスターコンテスト



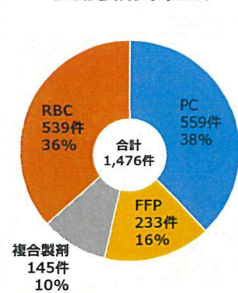
- ・B型肝炎ワクチン追加接種プログラム
- ・ファミリー献血の推進

## 赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用(2016)

### 副作用の種類



### 使用薬剤の種類

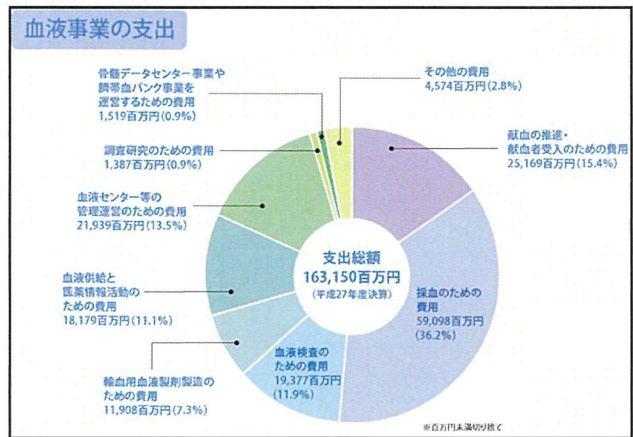
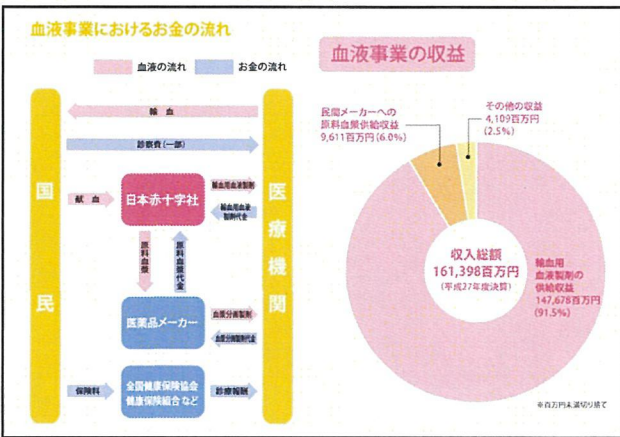
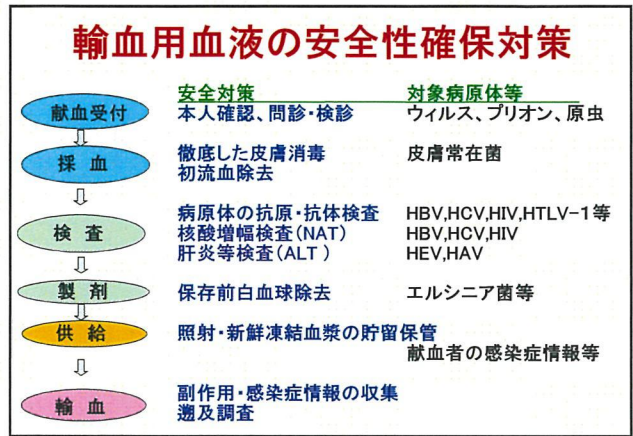
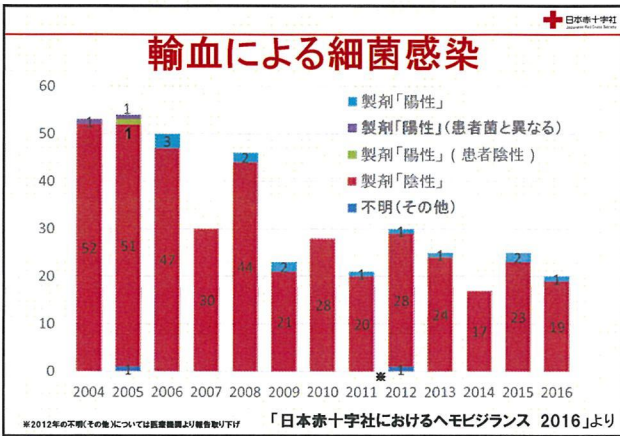


輸血情報1707-155

## 採血年別輸血後感染症の推移 (HBV・HCV・HIV)



「日本赤十字社におけるヘモビジランス 2016」より



### 血液事業の概況

- 血液製剤の多くは高齢の患者さんに使われている。
- 献血は50歳未満の献血者への依存度が高い。
- 少子高齢化の進展と若年献血者の減少により、需要と供給のバランスが崩れることが懸念される。
- 輸血用血液製剤(赤血球、血小板、凍結血漿)の需要はほぼ横ばいだが、血漿分画製剤の需要の増加が予測される。

献血推進

- 若い方へ
- 献血ルームへ

ご静聴有難うございました